発行年月：2020年（令和2）3月　　作成：特定非営利活動法人 うらおそい歴史ガイド友の会　　発行：浦添市教育委員会

うらおそい歴史新聞

第55号

尚金福王の功績とお墓発見（？）

第一尚氏王統は一四〇六年の尚思紹の即位から、一四七〇年に金丸・尚円に替わるまで、七代六四年、平均九年の短命政権である。特に尚忠以後は平均五年と一層短く、不安定な政権だったと考えられている。

事実、尚金福（第一尚氏第五代国王 一三九八～一四五三年）亡き後、一四五三年には尚巴志の子である布里と金福の世子が後継を争って戦い、二人とも滅び、首里城も焼失し中国皇帝から下賜された鑛金銀印も焼失するという事件が起きている。叔父・甥いずれも即位の資格があったからである。

沖縄における石造拱橋は、一四五一年に尚金福が冊封使を迎えるため、崇元寺から那覇の伊辺嘉麻（現松下）に架けた長虹提が初めてと言われる。

浦添の牧港橋が初めて石橋になったのは、いつの頃か定かではないが、一七三五年に首里王府が石橋七座を改修し、強固で美しいアーチ橋が完成したと言う。首里街道がこの地点で接続して、中頭と国頭方面に向かう街道となった。沖縄の産業経済文化を支える基幹道路の要諦であった。

沖縄戦後は、軍用道路一号線の開通、埋立てなどにより様相は一変し、中国の駝背橋形式を取り入れ、名橋と言われた牧港橋は地上から消えてしまった。

ところで、尚金福の亡骸は、玉陵から天山陵（第一尚氏王陵・那覇市首里池端）、戦後はキャンプキンザーの塀の中に（口伝）、その後、城間地域に移り…遥拝していたとの話もある。写真の場所は、那覇市仲井間国場十字路与那原向け約四〇〇メートルいった所の左則にあります。

（玉那覇）

浦添市教育委員会文化財課　098-876-1234（内線6211～3）

発行年月：2020年（令和2）3月　　作成：特定非営利活動法人 うらおそい歴史ガイド友の会　　発行：浦添市教育委員会

新しい発見の発掘現場説明会

十三世紀末から十四世紀初頭にかけて構築されたと見られ、琉球王国の礎を築いたといわれる浦添グスク跡ではあるが、その全貌は未だ不明な部分が多い。

特に、城郭は未だ推測域の範囲である。新しい発見が報告されたグスク跡を案内する者（ガイド）にとって、発掘調査の成果に対する期待は大きい。

今回、発掘を担当した菅原さんのロマンに満ちた説明に、参加者はグスクに対する思いを新たにしたものと思う。説明のあった石垣がどの方向に！、また、石垣がどこに繋がっているかは不明であった。しかし、これまでの発掘調査でも見たことのない曲線で、石灰岩を主としながら三個所に砂岩を混淆した見事な石積に驚嘆した。

七十五年前の沖縄戦で壊滅的に破壊されながら、更に、戦後の砕石で失われずに古人が残した遺産を今日、私たちが見ることができるのも、皮肉にも上段石垣の強度を保つために、使われた中込め（裏込め）が崩れ埋まった結果という。

何が功を奏するかは分からない。これからの発掘調査に期待すると同時に、私たちグスクを案内する者にとって誇らしく、県内外・外国から訪れる人々にも由緒ある浦添グスク跡の秘められた歴史を、伝えて行かなければと思った一日でした。

（仲間　孝蔵）

○浦添グスク・ようどれ館

国指定史跡「浦添城跡」のガイダンス施設です。平成十七年に、浦添市の学習拠点として開館し、浦添グスクと浦添ようどれの発掘調査での出土品や、戦前のパネルなどを展示しています。

また、県指定文化財の「浦添ようどれの石厨子」、浦添ようどれ西室（英祖王陵）内部を実物大で復元、展示しており、必見する価値があります。館内の展示物の説明はNPO法人うらおそい歴史ガイド友の会が担当します。

さらに、友の会では、お客様のニーズに合わせたガイド事業も展開しており、浦添グスク周辺の巡回活動も行い、館内見学者はもとより、散策中のお客様にも好評を得ています。

ぜひ、皆さんもお越しください！

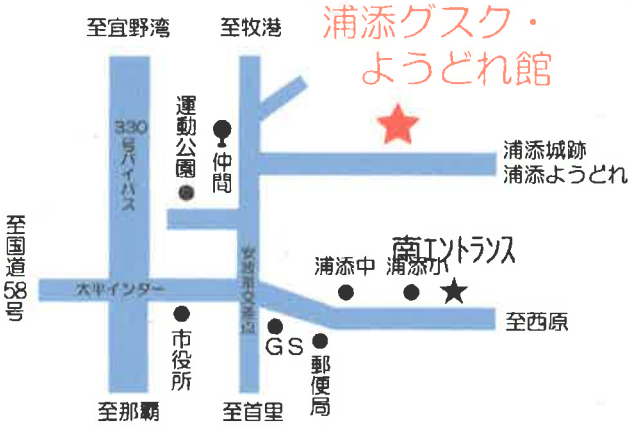
【開館時間】午前9時～午後5時
【入館料】
大人（高校生以上）　100円
小人（小中学生）　50円
※市内小・中学生は無料
【休館日】
月曜日・12月28～1月3日
【住所】浦添市仲間2-53-1
【電話】
098-874-9345（FAX兼）
【アクセス】
琉球バス交通　牧港線（55番）
仲間バス停から徒歩5分
無料駐車場有り

※浦添グスク・ようどれを中心に浦添の史跡・文化財の案内を致します（有料）。時間・コースは相談ください。基本料金ガイド1名につき、1時間1，500円です。

○浦添大公園南エントランス展示

【開館時間】午前9時～午後5時
【入館料】無料
【休館日】
月曜日・12月28～1月3日
【住所】浦添市仲間2-53
【電話】
098-874-9345
【アクセス】
琉球バス交通　56番
浦添小学校前バス停から徒歩5分
無料駐車場有り

※浦添グスク南側入口にある県営公園の施設です。浦添グスク地形模型のほか、グスクの紹介パネルや出土品のレプリカを展示しています。グスク散策事前学習に最適です！

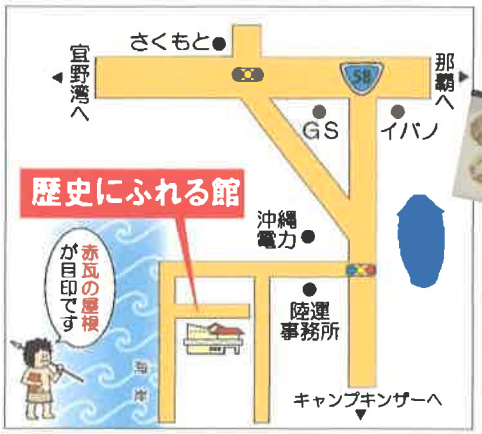


※仲間バス停から徒歩5分

○浦添市歴史にふれる館（やかた）

【開館時間】
午前9時30分～午後5時
【入館料】無料
【休館日】土・日・祝祭日（慰霊の日）
12月28～1月3日
【住所】浦添市港川512の11
【電話】098-876-1295
【アクセス】
琉球バス交通　20番系統
第一牧港バス停から徒歩15分
無料駐車場有り

※文化財の収蔵展示施設です。浦添西海岸道路北側から見える海岸沿いにあります。縄文時代から戦前まで、浦添の歴史と文化を紹介しています。



浦添市教育委員会文化財課　098-876-1234（内線6211～3）